

2019年3月  
第20号

2019年3月1日発行

朝鮮学校無償化実現・福岡連絡協議会  
—朝鮮学校無償化裁判を支援する会—

# 미래·ミシ通信

ミシとは未来という意味

事務局 ・ 北九州 〒807-0825 北九州市八幡西区折尾3-5-1  
九州朝鮮中高級学校内  
TEL 093-691-4431 / FAX 093-691-4441

・ 福岡 〒812-0044 福岡市博多区千代4-29-50-6階  
福岡県朝鮮学校を支援する会  
TEL 092-633-3745 / FAX 092-633-3310

<http://msk-f.net>

mail : [info@msk-f.net](mailto:info@msk-f.net)

## 目次:

釜山トンポネット  
「ハムケヘヨ」コンサート  
in 北九州 開催 1

第20回日本朝鮮教育  
シンポジウム 開催(広島) 3

他地方の裁判状況 3

広がる朝鮮学校支援の輪  
(韓国・釜山) 4



## 釜山トンポネット「ハムケヘヨ」コンサート in 北九州 開催

～いいね👍 朝鮮学校！ 釜山・北九州・筑豊・福岡・山口の友情と絆～

実行委員会事務局長 瑞木 実

### ■ 実行委員会の取り組み

2019年2月9日(土)、  
『釜山トンポネット「ハム  
ケヘヨ」コンサートin北九  
州』が行われました。



来場者は約600名で、  
会場となった北九州国際会議場メイン  
ホールは、満席になりました。

このコンサートは、朝鮮学校支援のためと位置づけ、実行委員会を立ち上げ公演成功に向けて取り組んできました。構成は、福岡県および山口県の朝鮮学校を支援する5団体と釜山の朝鮮学校を支援する市民団体を中心として趣旨に賛同する団体・個人です。



2018年9月19日の第一回実行委員会を皮切りに、2019年2月4日の第六回実行委員会まで、参加者全員が互いに知恵を出しながら取り組みを進めてきました。

特徴的なこととして、多くのコンサートの後援を得ることができました。

①北九州市、②福岡市、③下関市、④北九州市教育委員会、⑤西日本新聞社、⑥朝日新聞社、⑦毎日新聞社、⑧読売新聞西部本社、⑨九州朝日放送、⑩テレビ西日本、⑪FBS福岡放送、⑫RKB毎日放送などの行政マスコミ関係です。



第一回と第二回の実行委員会には、釜山からも参加があり、日本側と連携をしてコンサート成功のために韓国国内でしっかり取り組むことが報告されました。

コンサートのメインである舞台構成については、日本側実行委員会から福岡朝鮮歌舞団、釜山側実行委員会から映画監督キム・チウン、演出家キム・ソングァン、舞台監督ペ・ソンシクの3名の方がお互いに連絡を取り合い、また実際に会場に足を運んで、初めて取り組むコンサートの成功に向けて苦心されました。

### ■ 感動を呼んだコンサート

プログラムは、「I部 朝鮮学校・子どもたちの現在(いま)」「II部 朝鮮学校・子どもたちの未来へ」の2部構成でした。

# 미래·ミレ通信

ミレとは未来という意味

I部では、朝鮮学校の児童生徒たちの合唱・舞踊・カヤグム併唱・民族打楽器の演奏と学校生活の様子(映像)、高校生たちによるアピールが行われました。

II部では、朝鮮学校の子どもたちを支える大人として、福岡朝鮮歌舞団、

釜山トンポネット公演団、志免飛龍太鼓の演奏が中心でした。フィナーレは、出演者全員による「統一列車」「アリアン」の歌と踊りでした。

会場は、熱気にあふれ「ハムケヘヨ ウリハッキョ(いっしょにやろうよ 朝鮮学校)」の大合唱で閉演となりました。

終演後、多くの方から「よかった。子どもたちが輝いて見えた。感動した。」などの声をかけていただきました。

スタッフ一同、多くの方々に感謝しています。

カムサハムニダ!  
감사합니다!!

## コンサートの様子を写真で紹介



2019年3月



### 3月14日 判決言い渡し!

- 12時45分 入廷行動
- 13時10分 傍聴抽選
- 14時00分 裁判・判決
- 18時30分 報告集会

ぜひご参加ください!

### 他地方の裁判状況

- 広島(控訴審)  
2019年4月23日(火)に控訴審の第5回弁論が行われる予定です。
- 愛知(控訴審)  
2019年4月26日(金)に控訴審の第3回弁論が行われる予定です。
- 大阪(上告中)  
2018年9月27日(木)に控訴審で、不当な敗訴判決となりました。上告理由書を提出しています。
- 東京(上告中)  
2018年10月30日(火)に控訴審で、不当な敗訴判決となりました。上告理由書を提出しています。

## 『第20回日本朝鮮教育シンポジウム』開催(広島)

—全国から約270人が集う—

### 日朝学術教育交流協会会長 中村元氣

「第20回日本朝鮮教育シンポジウム」が1月20日(日)、広島市の「広島朝鮮初中高級学校」で開催されました。

現地広島をはじめ全国から約270人が参加して、日頃の日朝友好運動や民族教育の実践などを熱心に討論・交流しました。福岡からも朝鮮学校の全瑠成・尹慶龍・趙星来各校長と、辻傑福教組委員長、中村元氣元委員長の5人が参加しました。

今回は、「紐帯(New Day)民族の誇りとゆたかな教育を未来につなごう」をテーマとして、日本教職員組合・在日本朝鮮人教職員同盟・日本朝鮮学術教育交流協会・現地実行委員会の4団体による共催で開催されました。

9時から始まった公開授業では、1時間目は朝鮮学校教員が、2時間目は日本人教員(広島県教組9人と広島高教組3人)が行いました。朝鮮学校の子ど

# すべての子どもには学びへの権利があります！

もたちも緊張しながらも次第に慣れてきて、日本人教員の指導の下に明るく元気に授業を受けていました。



その後、全体会では4団体を代表して、日朝学術教育交流協会の中村元氣会長が「1999年に始まったこのシンポジウムは今回で節目の20回目を迎え、年々盛んになってきた。特に、2013年から各地の朝鮮学校を会場として開かれ、一昨年の東京、昨年の千葉に続き今回も日本人教員の公開授業が行われ、好評を得ている。高校無償化裁判問題等、朝鮮学校をめぐる情勢は大変厳しいが日朝友好の運動と実践が全国で進んでいる。これらを契機に頑張っていこう」と挨拶しました。

続いて、初の韓国・全教組代表からの挨拶、嶋田事務局長の基調提案、会場校の金英雄校長からの現地報告の後、鄭栄垣・明治学院大学准教授が「4. 42教育闘争とは何であったか」と題しての講演があり、今日まで続く朝鮮人・朝鮮学校差別との歴史や関連について詳しく語られ、参加者に大きな示唆を与える内容でした。

全体会最後は、同校生徒による歓迎の歌と踊りがあり、会場のみんなを楽しく和ませてくれました。弁当はオモニ会手作りの「焼肉弁当」で、寒い体育館は温かい愛情に包まれました。



午後は、7つの分科会に分かれての報告・提起・意見交換が熱心に行われました。

福岡からは、第3分科会で「福岡無償化裁判の情勢報告」を行い、3月14日の判決勝利に向けて今後の全国連帯した取り組みを要請し、分科会全体で確認し合いました。過密な日程で短時間での分科会論議でしたが、他の分科会でも各地の取り組みの実践交流が行われました。

終了後、再度体育館で閉会集会を行い、嶋田事務局長の全体的なまとめ、そして、「朝鮮学校の子どもたちに学ぶ権利を！—高校無償化裁判勝利・補助金カット反対—」のアピールを採択し、最後に、参加者全員で「声よ集まれ、歌となれ」—<文科省前「金曜日

動」テーマソング>を歌って閉会しました。



前日の19日には、恒例の「日本朝鮮教育シンポジウム記念レセプション」が開かれ、来賓や4団体の代表者、現地の関係者など約60人が集まり前夜祭を祝いました。最後には、広島歌舞団の公演があって、全員で大合唱、総踊り、統一列車をして大いに盛り上がり、翌日のシンポジウムの成功を祈念しました。

## 広がる朝鮮学校支援の輪(韓国釜山でも) 朝鮮学校を支える会・北九州 事務局長 瑞木実

2018年12月1日「朝鮮学校と共にする市民の会(釜山)」が発足しました。



これは、2006年に釜山市を中心に発足した市民団体「釜山海外同胞民族文化・民族教育ネットワーク(略称:釜山トンポネット)」を母体としたものです。

釜山トンポネットは、12年前から、福岡県・山口県内の朝鮮学校と交流があり、韓国内で朝鮮学校に対する認知と理解を広げる活動を行っています。今回の「市民の会」の発足は、朝鮮学校との交流・支援を中心活動とするものです。

12月1日午後2時、釜山市日本領事館前の従軍慰安婦少女像横で記者会見(発足のアピール行動)が行われました。

「市民の会」イ・ヨンハク代表が「日本政府は朝鮮学校を差別するな。高校無償化を即時適用せよ。私たちは同胞を守るぞ。」と市民の会発足の趣旨を力

強く訴えました。

引き続き、午後4時から、釜山市中区東光洞(トングアンドン)の釜山映画体験博物館で「朝鮮学校と共にする市民の会」の発足式がありました。参加者は約200名でした。

「市民の会」は、釜山民族芸術人総連合、釜山民主抗争記念事業会、釜山サッカー協議会など釜山の市民団体24団体で構成されています。

イ・ヨンハク共同代表は、「強制徴用者たちが船に乗ったところが釜山港で、解放後に祖国に戻ってきた人々が最も多く定着したところも釜山と慶尚南道だ。日本にある朝鮮学校と一番先に連帯するのは我々の仕事だ。」と発足の趣旨を説明しました。

福岡県民族文化・民族教育連絡会の金正培、崔有福のお二人が連帯の挨拶を行い、瑞木が朝鮮学校を支える会・北九州の活動報告をしました。

また、この発足会には、ソウルからソンミフイさん(ウリハッキョと子どもたちを守る市民の会代表)が参加し、連帯の挨拶を行いました。

最後に参加者全員でシュプレヒコール「朝鮮学校差別反対!」「高校無償化適用!」を行い、閉会しました。